青森県経済統計報告

　　　令和元年10月7日

企画政策部統計分析課

１　青森県の推計人口（令和元年９月1日現在）……………………………………………………　 1

|  |
| --- |
| 県人口　1,246,877人（対前月781人減少）  自然動態　　856人減少（出生者数　 589人、死亡者数　1,445人）  社会動態 75人増加（転入者数 1,692人、転出者数 1,617人） |

２　本県の経済動向（令和元年7月・8月の経済指標を中心として）

（１）経済概況

|  |
| --- |
| 本県経済は、緩やかに回復している。 |

（２）主要経済指標の動向

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (2-1) | 生産動向 | ・令和元年7月の**青森県鉱工業生産指数**(平成22年＝100)は、季節調整済指数が 112.2 で、前月比8.6％の上昇となり、2カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 116.9 で、前年同月比 2.4％の上昇となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。 | … | 2 |
| (2-2) | 雇用労働 | ・令和元年7月の**定期給与**は222,489円で前年同月比0.3％減となった。**総実労働時間**は101.7時間で前年同月比0.2％減、**所定外労働時間**は9.9時間で前年同月比5.7％減となった。  ・令和元年8月の**有効求人倍率**（季節調整値）は1.20倍で、前月と同水準となった。 | … | 3 |
| (2-3) | 物　　価 | 令和元年8月の**青森市消費者物価指数**（平成27年=100)は、総合指数が102.7となり、前月比0.3％の上昇、前年同月比0.7％の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.4となり、前月比0.1％の上昇、前年同月比0.8％の上昇となった。 | … | 5 |
| (2-4) | 個人消費 | ・令和元年8月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが153億円で前年同月比1．4％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.2％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。  ・令和元年8月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は3,169台で、前年同月比8.1％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。  ・令和元年8月の**観光入込客数**は、主な観光施設が1,388千人で前年同月比10.3％減となり、3カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は180千人で前年同月比0.7％減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。 | … | 6 |
| (2-5) | 建　　設 | ・令和元年8月の**新設住宅着工戸数**は548戸で、前年同月比3.4％増となり、4カ月ぶりに前年同月を上回った。  ・令和元年8月の**公共工事請負額**は167億7,500万円で前年同月比0.1％減となり、6カ月ぶりに前年同月を下回った。 | … | 7 |
| (2-6) | 企業倒産 | 令和元年8月の**企業倒産**は、件数は5件で前年同月比66.7％増となった。負債総額は6億200万円で前年同月比123.8％増となった。 | … | 8 |

（３）景気動向指数ＣＩ（令和元年７月分）………………………………………………………　 …　 　9

|  |
| --- |
| 先行指数　 103.4（前月を2.8ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、3カ月ぶりに上昇した）  一致指数　 129.2（前月を3.7ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、3カ月ぶりに上昇した）  遅行指数　 107.9（前月を3.2ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、3カ月ぶりに下降した） |





**（２－２）雇用労働**

**（２－２－１）給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）**

　令和元年7月の定期給与は222,489円 で、定期給与指数（平成27年＝100）では103.0となり、前年同月比0.3％減と7カ月ぶりの減（現金給与総額282,592円、現金給与総額指数112.7、前年同月比3.4％増）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.4となった。

　総実労働時間は157.3時間で、総実労働時間指数は101.7となり、前年同月比0.2％減と11カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は9.9時間で、所定外労働時間指数は86.1となり、前年同月比5.7％減と18カ月連続の減となった。





**（２－２－２）有効求人倍率**

令和元年8月の有効求人倍率（季節調整値）は1.20倍で、前月と同水準となった。就業地別有効求人倍率は1.32倍で、前月を0.01ポイント上回った。



（参考）充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

　令和元年8月の充足率は19.2％で、前年同月を2.0ポイント上回った。



**（２－３）物価**

　令和元年8月の青森市消費者物価指数（平成27年=100)は、総合指数が102.7となり、前月と比べ0.3％の上昇、前年同月と比べ0.7％の上昇となった。

　生鮮食品を除く総合指数は102.9となり、前月と比べ0.2％の上昇、前年同月と比べ0.8％の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.4となり、前月と比べ0.1％の上昇、前年同月と比べ0.8％の上昇となった。

　総合指数が前月と比べ0.3％の上昇となった内訳を寄与度でみると、教養娯楽（教養娯楽サービスなど）、食料（生鮮野菜など）などの上昇が要因となっている。

　総合指数が前年同月と比べ0.7％の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（穀類など）、光熱・水道（他の光熱など）などの上昇が要因となっている。





　※　**寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示した  
 ものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比（％）

の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された

指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

　本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

**（２－４）個人消費**

**（２－４－１）百貨店・スーパー販売額**

令和元年8月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが153億円で前年同月比1.4％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.2％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。



　＊　大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メ－トル以上の商店をいう。

そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

**（２－４－２）乗用車新車登録・届出台数**

令和元年8月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,169台で、前年同月比8.1％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。普通乗用車及び軽乗用車が増加したことによる。



**（２－４－３）観光入込客数**

令和元年8月の観光入込客数は、主な観光施設が1,388千人で前年同月比10.3％減となり、3カ月連続で前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は180千人で前年同月比0.7％減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。観光施設は青森市、八戸市等の施設で減少し、宿泊施設は青森市、弘前市の施設で減少したことによる。

 

**（２－５）建　　設**

**（２－５－１）住宅建設**

　令和元年8月の新設住宅着工戸数は548戸で前年同月比3.4％増となり、4ヵ月ぶりに前年同月を上回った。主に分譲住宅が増加したことによる。

**（２－５－２）公共事業**

令和元年8月の公共工事請負金額は167億7,500万円で前年同月比0.1％減となり、地方公社などの減少により6カ月ぶりに前年同月を下回った。また、令和元年8月までの累計金額は1,086億700万円で前年同期比11.9％増となった。



**（２－６）企業倒産**

　令和元年8月の企業倒産は、件数は5件で前年同月比66.7％増となった。負債総額は6億200万円で前年同月比123.8％増となった。また、令和元年8月までの累計倒産件数は36件で前年同期比100.0％増、負債総額は54億400万円で前年同期比195.6％増となった。



**（３）青森県景気動向指数**

　令和元年7月の青森県景気動向指数（ＣＩ）は、先行指数103.4、一致指数129.2、遅行指数107.9となった。

　先行指数は、前月を2.8 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、３カ月ぶりに上昇した。

一致指数は、前月を3.7 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、３カ月ぶりに上昇した。

遅行指数は、前月を3.2 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、３カ月ぶりに下降した。

7月の一致指数は生産、消費関連の指数がプラスになったことから上昇した。



